

〔曲名〕 Inno Mandolinistico “FLORA”

マンドリン賛歌 “フローラ”

〔曲種〕

〔作曲者〕 A.Cappelletti

アルリーゴ カペルレッティ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者は1877年1月16日コモに生まれ、そこでPozzoloからピアノ、オルガン対位法を学び更にボローニアでM.Cesare dallolioから作曲法を学んだ。

1900年ボローニアのR.Filarmonicaでピアノを1901年作曲法を修学。

1913年には吹奏楽に通達、又ミラノのヴェルディ音楽学校でオルガン、合唱を学んだ。

この間種々の作曲コンクールに入賞し、劇場の指揮者となった。

コモでは聖フェデーレ教会のオルガストとなり、二声のミサ（リコルディ出版）三声のミサ（トリーノ）夜曲、

（トリーノ）ヴァイオリンとピアノの三楽章のソナタ、オルガンの三楽章のソナタ、歌とピアノのロマンツァ等の作品がある。

マンドリンオーケストラの作曲では1911年イル・プレットロ主催の作曲コンクールで一位に入賞した劇的序曲が最も著名で、

本曲は故郷コモのマンドリン合奏曲「フローラ」の指揮者となって同団に贈られたマンドリン賛歌。

当時としては珍らしくマンドリン合奏に対位法を駆使し、対位法の師Pozzoloに贈り、その薫陶にこたえたものと云えより。

イル・プレットロ誌創刊早々の（1906年）第一回作曲コンクールに入賞した作品で出版は翌年1907年

1972年5月1日発行

イタリアマンドリン百曲選第15集より